自然たっぷり 紀宝町の古民家で ゆうゆう子育て

紀宝町民 REAL VOICE 3

大山 清志（きよし）さん、ゆかさん、清夏（さやか）ちゃん（1歳5ヵ月）

from 沖縄県 → to 紀宝町

移住年月：2020年5月

清志さんは山口県下関市、ゆかさんは沖縄県那覇市のご出身。田舎暮らしを求め紀宝町へ。取材日の1週間後には第2子を出産予定！

田舎での生活に憧れて見知らぬ場所へ

紀宝町に移住する前は、里帰り出産で沖縄県の那覇市に1年くらい住んでいまして、結婚したのは長崎県の対馬にいたときです。そのほかに、季節労働で京都府や北海道にもいましたし、ワーキングホリデーで海外にもいたこともあり、いろんな地域を転々としてきました。沖縄では人や車の多い住宅地で暮らしていましたが、もともと都会よりも田舎に憧れがあったため、移住先を探していました。そんなときに、いろんな自治体で移住希望者向けの「お試し住宅」があるのを知って、その一つに紀宝町がありました。

最初は聞いたことも、どこにあるのかも知らない場所でしたが、Webで見て緯度的にも気温の温かい地域かなぁと思いましたし、子育て支援の手厚さを調べていくうちに、子どもの医療費がほかの地域では中学生まで無料というところが多い中で、ここは高校生まで無料など、いろんな面で紀宝町が一番いいと思うようになりました。

移住するにあたり、結婚新生活支援補助金と空き家バンクの制度を利用しました。家探しもいくつか選択肢があって何軒かを実際に見せてもらいましたが、この家がタイミングよく空き家バンクに登録されて、料金面も含めて条件がよかったので即決しました。家の周りもとてもいい田舎感で気持ちよく、すぐ近くに川があり散歩もでき、また、車もめったに通らないので子育てをするのに安心というのも決め手でしたね。

畑の手入れも田舎暮らしの魅力

地元の方から野菜をいただくことも

暮らしの中に魅力がいっぱい

実際に住んでみて、近所の人たちが野菜をくださったり、子どもと遊んでくださったり、お米もお隣さんから買わせてもらうなど、とてもよくしてもらっています。また、隣家が少し離れているので、生活音を気にせず暮らせることがとても助かっています。夜も子どもを寝かせるときに、音楽をかけて大声で歌っていますが、すぐ近くに家がないのでちょっと騒いでいても気になりません。あと、星空が素敵で、転々としてきた中で、北海道が一番きれいでしたが、それに負けないくらい好きですね。移住先のポイントとして子育て環境を一番重視してきたので、紀宝町ではのびのびと生活をしながら子育てができていますね。

この場所で暮らし始めて、家に付いていた畑を楽しんでいます。ここに来て半年ぐらいですが、キャベツとかブロッコリー、夏はナスとピーマンなどを栽培しました。また、庭には柿の木もあったので、秋には収穫を楽しみました。いまは柿の木の剪定をするために、図書館で本を借りてきて、ちょっとずつやっています。とても難しく、どこを残したらいいとか全然わからないんですが、それも楽しい時間ですね。また、庭で肥料を作ってみたり、焼きイモを作ったりするんです。都会だったらこんな体験は全然できないんで、いい感じです。

あとは結構いい家だったんですけど、お風呂などいろいろ修繕するところもあって、DIYもしています。補修程度ですけどリフォームも楽しみながら生活しています。家を探すときは、自分の趣味に合わせて、家に付いているオプションで選ぶのもよいかもしれないですね。

家のすぐ前にある畦道を子どもと裸足で散歩するのが、大山さん一家の楽しみ

夢は自給自足の生活です！

この家には、まだ放置して手つかずな土地もあるので、もう少し農業も増やしたいですね。例えば米づくりや、ニワトリやヤギを飼うなどもできたらいいなと思っていますし、猪狩りもしてみたい。あとは普通に仕事として、移住前までマッサージの仕事をしていたので、ここでもトラックを買って移動式マッサージをしようと思っています。

紀宝町は田舎で、飲食や娯楽のお店はあまりないですが、すぐ隣には和歌山県の新宮市という街もありますし、沖縄や北海道だったら4日ほどかかっていたインターネット通販での注文も翌日には届くので、特に買い物に困るという感じがありません。あとガス代は都市ガスではなくプロパンガスなので高いですが、漁港や農地がある町なので魚とか野菜は安いですし、水がきれいです。過疎地なだけに空き家が多いですが、家賃が安いのが魅力ですし、空き家が多いということは住む場所の候補が多いということです。海・山・川の自然があって、その中で農作物も作れるし、釣りもでき川遊びもできる。とにかく自然の中でゆうゆう自適に生活したい人にはおすすめできる町ですね。

（上）家族で憧れの田舎暮らしを満喫中
（右上）木槌と杭を使い体をほぐすトークセンと呼ばれるタイ式マッサージで施術する清志さん
（右下）自家栽培で収穫した野菜でバーベキュー

紀宝町に住んで

自然の中で楽しみたかった、子育てもこれから気になるところ、そこも安心して生活できるような形にしたいということで、紀宝町を選びました。台所から見える風景も気に入っていて、のんびりとしていて開放感たっぷりです。タイミングよく、この家に巡りあえて本当にありがたいですね。移住前に思い描いていた、予想通りの田舎生活を送ることができています！